

まちづくりとソーシャルデザイン

ソーシャルデザインとは

デザインといえば、日本では主に芸術的な感覚が含まれたものとイメージされていますが、本来のデザインの意味はより広い「問題解決」です。

そしてデザインの対象は、外観、設計、関係の3つに分かれます。

外観は、見た目の問題を解決するために色や形を変えることで、人にやさしい(ユニバーサルデザイン)、人を惹きつける(ファッションデザイン)外観に変えます。

設計は、人の行動がスムーズでない場合、設計を変えることで問題を解決します。住宅の動線や都市の交通など、人と関わる多くのモノや事象の問題が設計を変えることで解決されています。

関係は、モノや事象ではなく人と人との関係を変えることで、問題を解決します。身近な人とのコミュニケーションが円滑になることで問題が解決することは多くあります。このような人と人との「関係」を対象とするデザインは「コミュニティ・デザイン」と呼ばれることもあります。

外観、設計、関係を対象としたデザインによって



歴史に学び現代の暮らしに生かすまち

問題を解決することは、まちづくりにとってすべて必要なことであり、総称して「ソーシャ

ルデザイン」と呼ばれます。

人間を中心にしたビジョンと地域の誇りづくり

デザインは、常に人間を中心にして問題解決を行います。ま

ちづくりにおいても、極めて機能的であつても人と人との関係に乏しいまちで



ちょっと感じのいいまち並みが続くまち

は、住民が満足し幸せになるとは限りません。

また、問題はニュータウンにもオールドタウンにも常に発生します。バラバラに発生する問題から、一貫したわかりやすいビジョンを生み出し、小さくてもこれまでになかった新しい工夫で問題解決を積み重ねていくことが、人々を感激させ、想像力を刺激し、自分たちのまちを作り上げていく実感につながります。

さらに、人々がまちを愛していない状態では、まちは良くなりようがありません。このため、他のまちにはないもの、マネをしようとしても簡単にはできないものを発見し、磨いて「地域の誇り」とすることが大切です。

芹橋二丁目まちづくり憲章案には、一貫したわかりやすいビジョンや地域の誇りづくりが提案されています。

彦根景観フォーラムも、芹橋二丁目のまちづくりに学びながら、活動を支援していきたいと考えています。

NPO法人 彦根景観フォーラムのご案内

彦根景観フォーラムは、まちの景観づくりを楽しむNPOです。大学教員、建築家、市民、商店主、公務員などが集まり、知恵と力を合わせて活動しています。様々な情報を事務局までお寄せ下さい。

- **ブログ** <http://hikone-keikan.seesaa.net/>
- **定例会** 毎月第3金曜日 午後7時～9時 滋賀大学陵水会館 誰でも自由に参加できます。
- **お問合せ** : 彦根景観フォーラム事務局 TEL 080-1416-5968 FAX 0749-27-1431
E-mail: hikonekeikan@hotmail.com まで



きらっと彦根 vol.43

彦根の魅力 ★ 再発見

彦根まちづくり誌 2016年5月10日 通巻43号 編集/発行 NPO法人 彦根景観フォーラム

8年目を迎えた多賀里の駅

NPO法人彦根景観フォーラムは、平成20年に江戸時代から続く庄屋屋敷「一圓屋敷」の寄贈を受け、地元の多賀クラブ（多賀を元気にする有志の会）の皆さんと一緒に、多賀「里の駅」として、毎月第一土曜日に《野菜市》と《集い》、《野鳥の森植物観察会》、地元食材を使った《農家レストランのランチ》を開いてきました。

8年間に、一圓屋敷で使われたさまざまな道具や屏風などの公開、建物や庭園の公開、夏休みの子どもたちに古民家と自然の魅力を堪能してもらう「おばあちゃんの家の夏休み」や落語会、演奏会などを開催するとともに、予約制の農家レストランを立ち上げ、平成25年度農林水産省地産地消給食等メニューコンテストで農林水産大臣賞を受賞しました。また、重厚な日本建築は、平成26年に国登録有形文化財（建築物）に指定されました。

私たちは、この機会に課題を明確にし、参加者一人ひとりの思いを大切にしながら、新たな課題解決に取り組み、一圓屋敷の保存と活用によって多賀の活性化に役立っていきたくと考えています。

一圓屋敷に来られる方すべてが仲間です。あなたも、ぜひお越し下さい。



集い87「87枚の絵」

4月2日（土）の集いは、江竜美子さんの「87枚の絵 多賀里の駅の集いのチラシと絵の思い出」のお話を聞きました。

江竜さんは、8年前から多賀里の駅の集いのチラシを担当しています。多賀の里らしい絵を描こうと

毎月素材を集め、水彩の肉筆で描いています。この日は87枚の原画を、描く際の苦労、裏話とともに紹介していただきました。現在、原画は3隻の屏風に表装されており、この日は屋敷の2階で鑑賞しました。チラシは原画の一部を切り取っているため、原画の方が絵のチカラがよく伝わってきます。

農家レストランのランチは、菜の花すし、春菊の白和、春野草の天ぷらなどでした。



集い88「新緑の宴と箏の奏で」

第88回集いは、5月7日（土）10時30分から、多賀若葉会の皆さんによる演奏会です。箏、十七弦、篠笛、尺八の合奏で、日本の楽器の魅力を、一圓屋敷で満喫してください。

「野菜市」と「野鳥の森植物観察会」は 9時から、農家レストランは、12時から 旬のだけの料理が味わえます。

特集 まちづくり憲章とソーシャルデザイン

「芹橋二丁目まちづくり憲章」提案の意義